

# 幸楽輸送株式会社本社

Kouraku Transport Headquarter

No. 16-056-2022作成

新築  
事務所

|       |  |              |             |                            |              |            |
|-------|--|--------------|-------------|----------------------------|--------------|------------|
| 発注者   | 北海道コカ・コーラボトリング（株）                        | カテゴリー        | A. 環境配慮デザイン | B. 省エネ・省CO <sub>2</sub> 技術 | C. 各種制度活用    | D. 評価技術/FB |
| 設計・監理 | 戸田建設株式会社札幌支店一級建築士事務所<br>TODA CORPORATION | E. リニューアル    | F. 長寿命化     | G. 建物基本性能確保                | H. 生産・施工との連携 |            |
| 施工    | 戸田建設株式会社                                 | I. 周辺・地域への配慮 | J. 生物多様性    | K. その他                     |              |            |

## ZEB Readyを実現 環境・衛生・BCP対応を強化したオフィスビル

### 環境・衛生・BCP対応を強化

運送会社の事務所ビルの建替え計画である。ZEB Readyの認証を取得したが、屋上の太陽光発電装置の将来増設を計画しており、その際はNearly ZEBの認証取得を視野に入れて設計されている。

衛生面では、入退館時の顔認証やWC入口の自動ドア化、CO<sub>2</sub>濃度連動換気により感染対策を徹底している。

防災面では、太陽光発電を蓄電池設備に貯めての利用、1階防災倉庫内に災害用貯水槽の設置、1階駐車場にマンホールトイレの設置、2階男女トイレそれぞれに断水時に1Lの水で洗浄可能なレジリエンストイレを設置し、BCP対策を行っている。

### 環境配慮の試み

外装は鋼板サンドイッチパネルの内側に硬質ウレタンフォーム吹付を行い、外皮性能を高めている。サッシのガラスはLow-E複層ガラスとしている。

照明器具はLED照明とし、点灯制御を行っている。

空調は高効率機器の使用、換気には全熱交換機を用いている。

その他環境面での配慮として、ペットボトルをリサイクルしたカーペットの使用、ペットボトルリサイクルのOAフロアの使用をしている。

街灯には太陽光+風力発電の街灯を使い、駐車場にはEV車用コンセントを備えている。



南東側外観



エントランス内観 柱に設置したモニターにより太陽光発電の見える化を実現

### 快適な室内環境の提供

執務スペースは2階事務室にワンフロア化した。フリーアドレス対応の什器レイアウトとしている。

天井高2700mmの空間にフルハイトの窓による2面採光を実現して、部屋の奥まで明るい光が行き渡る。

照明は人感と昼光センサーで明るさ制御を行っている。

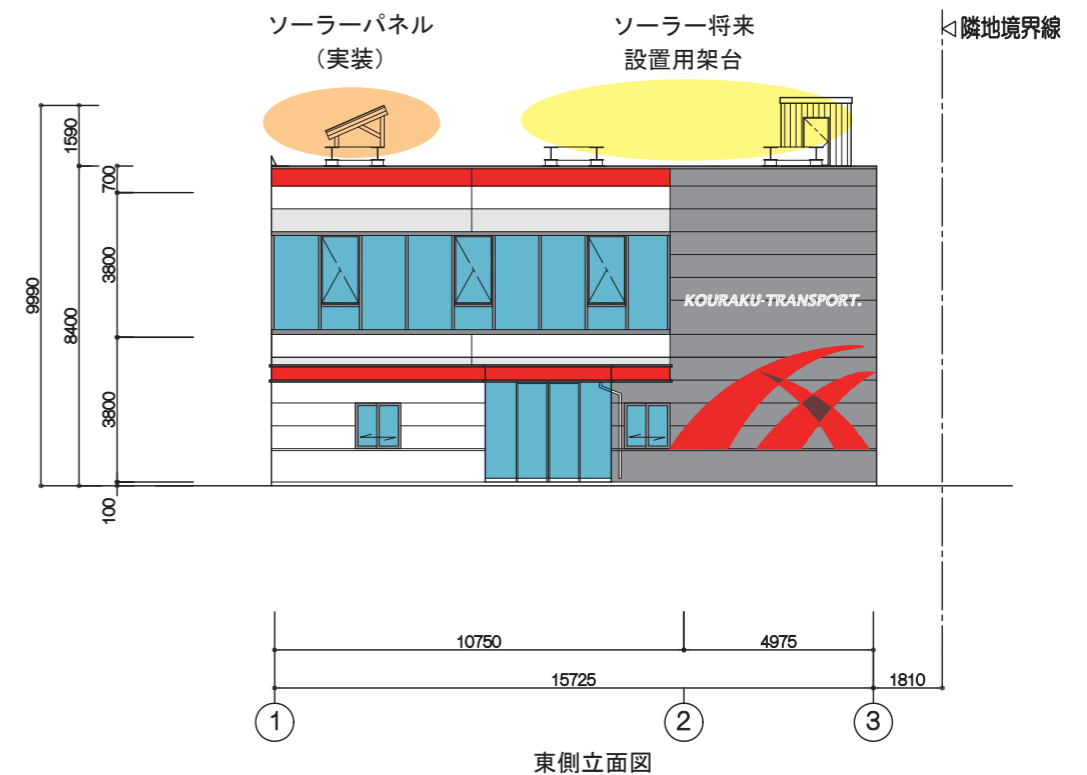
たてすべり出し窓の開閉により、自然換気・自然排煙が可能である。

窓側天井に空調吹出口を設け、コールドドラフトを抑制している。

床下は薄型のOAフロアを敷設し、レイアウト変更に柔軟に対応可能としている。



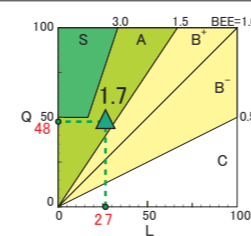
2階事務室内観



設計担当者

統括：山島勝/建築：野原一洋/構造：石坂隆幸・内藤毅/設備：高橋義行・狩野悠太郎

|                        |                        |                           |                           |          |         |
|------------------------|------------------------|---------------------------|---------------------------|----------|---------|
| 建物データ                  | 所在地 北海道札幌市             | 省エネルギー性能                  | PAL削減 39 %                | CASBEE評価 | Aランク    |
| 竣工年 2022年              | 竣工年 2022年              | ERR (CASBEE準拠) 62 %       | ERR (CASBEE準拠) 62 %       | BEE=1.7  | BEE=1.7 |
| 敷地面積 993m <sup>2</sup> | 敷地面積 993m <sup>2</sup> | LCCO <sub>2</sub> 削減 48 % | LCCO <sub>2</sub> 削減 48 % | 2016年度版  | 2016年度版 |
| 延床面積 855m <sup>2</sup> | 延床面積 855m <sup>2</sup> | BELS ★★★★★                | BELS ★★★★★                | 自己評価     | 自己評価    |
| 構造 S造                  | 構造 S造                  | ZEB Ready                 | ZEB Ready                 |          |         |
| 階数 地上 2階               | 階数 地上 2階               |                           |                           |          |         |



主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (PAL性能、Low-Eガラス)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (ERR性能)
- LR3. 1. 地球温暖化への配慮 (LCCO<sub>2</sub>削減)